

稲葉健二の ひと言メッセージ



稲葉健二後援会
市川市八幡2-2-10
TEL333-1783
FAX334-1990

稲葉健二は、
皆様のご意見・ご要望を
お待ちしております。
お気軽にご連絡ください。

内部討議資料

皆さん、こんにちは。市川市議会議員の稲葉健二です。

さて、この6月に開会された定例会におきまして、一般質問をさせていただきました。

関係者の方々より熱心にご答弁をいただきました。そのご答弁に沿って行政と協力しあって、よりよい市川市を目指したいと考えております。

○市川市公共サイン（案内標識）設置について

昨年の6月議会においても質問をさせていただきましたが、本八幡駅周辺は、公共施設も多く、また三駅の結節点であることから、市民の皆様が大変多く利用する区域であります。この地域での公共サイン作りについての討議、具体的な進捗状況がどのようになっているのか質問させていただきました。

平成5年に交通サインマニュアルが策定され、公共サインの整備を進めて来ましたが、設置されたサインの管理が不十分である、また予算の問題などを含め、市民の皆様のニーズに答えられないなどの問題から、マニュアルの改訂作業を行なっている状況です。

最近、八幡市民談話室の壁面に作られた周辺案内図に多くの方が足を止めて見ている状況から、公共サインの必要性の高さが表れていると思います。これからの計画では、関係部署の職員からなるサイン事業調整会議において、古くなった平成5年のマニュアルを改訂し、市民の皆様によりわかりやすいサインを作成していく、そんな方向で進んでいきます。

市民の皆様が、公共施設、文化施設などに迷うことなく行ける、外観的にも文化都市市川にマッチした、そんな公共サインを整備できるよう、稲葉健二も全面的に協力していく決意です。

○八幡市民談話室について

本八幡駅北口の国道14号交差点にある市民談話室ですが、この施設は、市民のふれあいの場、情報交換の場、また地域の集まりやサークル活動などにサロンの場所として利用されています。今までは貸館業務も含めて6階部分を市川市社会福祉協議会が利用していましたが、現在では市川市文化振興財団に委託し貸館業務、管理業務を行なっています。

この場所はこの地域の一等地でもあり、6階部分の利用方法も含め、ぜひ有効利用するべきであると思います。これからもこの市民談話室を文化の一拠点としての役割とコミュニティと市民文化の創造を目的に利用できるよう取り組んでいきたいと思っています。

○映像文化センターについて

昨年の2月の議会に質問をさせていただきましたが、まだまだ利便性、音響・照明などの施設に関して、利用者の方から使いづらいとの指摘がございます。

音楽の発表会、講演会に利用できる「グリーンスタジオ」ですが、休・祭日の開館、利用時間の延長など、また利用料金、音響・照明などの施設の改善を考え、利用する方の利便性を向上させ、より市民の皆様を使い勝手が向上するように努力してまいります。

また、パネルシアターや軽音楽の発表などに利用できる「ベルホール」。稼働率から考えると、決して有意義な活用がなされていない状況です。「読み聞かせ」「音楽の練習」など小ホールとしての利用価値を考え、利便性に富んだ使用目的へと改善していくよう努力します。

○コミュニティサポート委員会について

学校、家庭、地域が協力しあって、子どもたちを育てていく、そんな目的で一昨年に立ち上がった「コミュニティサポート委員会」、子どもたちの成長を地域の団体の方たちで支えて行く、今の時代に大変大事なことであり、稲葉健二も全面的に支援して参ります。

昨年一年間は、フルに活動した年度でありましたが、各委員会では、まだまだ活動に温度差があるようです。

内容を伴った活動や委員会で話し合われた情報を地域の方々へどのように伝達するのか、また構成する団体や人数の問題など課題はたくさんありますが、せっかく設置されたこの委員会を子どもたちのために活かせる組織にするためにも、3年目にあたる今年は大変大事な年だと思えます。

次代を担う子どもたちのためにも、行政と話し合い、各委員会に参加している団体の方々とも情報交換を密にして、よりよい運営に向けて努力していきます。



😊 嬉しいご報告! 😊

社会的弱者の方やお年寄りや小さい子ども連れの方に朗報です。稲葉健二が2年越しにお願いしてきました市川文化会館大ホールのトイレの問題。この8月から工事が始まり、階段を降りずに利用できるトイレが1階にできあがります。

また、市民会館ですがメインの入口だけでなく、右側の事務所、会議室への入口にもスロープをつけ、車椅子でも入れるようになります。これも8月から工事が始まります。♡♡♡